



学校通信 赤坂小だより

令和7年度 第28号 R8.3.9

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

巣立ちの時を祝って 感謝と笑顔あふれる『6年生を送る会』

◎2月27日(金)1,2校時に、全校児童による『6年生を送る会』が開催されました。5年生が中心となって、企画、運営を担って取組を進めてきました。当日は、縁の下の力持ちに徹して、会の進行に力を尽くしました。そのお陰で、クイズコーナーでは大いに盛り上がり、1~4年生の出し物には温かい拍手が鳴りやまず、6年生のこれまでの振り返る「思い出のアルバム」では、懐かしいスナップに笑顔がこぼれました。

6年生からは後輩たちへのメッセージと、『好きすぎて滅~アイリスアウト』の曲に乗せて、出し物実行委員で考えたダンスを踊りました。大サビでは、男子女子も仲良く全員で、6年生の絆の深さを示すパフォーマンスを披露しました。さすがの迫力に、在校生は目を輝かせて見入っていました。

会の最後に、全校児童と先生方で一緒に歌った『ひまわりの約束』と『校歌』では、思いがあふれて涙を流す姿も見られました。みんなの心が一つになったことを実感できた瞬間でした。

司会進行は5年生にお任せ



何が通ったでしょう&〇×クイズ



1年生:「大好きな6年生へ」



2年生:歌とダンス「ありがとうの花」



3年生:ダンス「倍倍ファイト!」



4年生:「6年間を振り返って~カリスマックス」



6年生へ感謝のメッセージ
「ご卒業おめでとうございます。
「六年生のやさしさにたくさん助けられました」
「中学校でも部活や勉強をがんばってください」



6年生:ダンス「好きすぎて滅~アイリスアウト」



6年生~在校生へカレンダーのプレゼント



全校合唱「ひまわりの約束」「校歌」



花のアーチで見送られる6年生



フィナーレでは、体育館の壁に設置していた3つのくす玉から、6年生へのメッセージが、紙吹雪とともに披露されました。また、6年生からは、伝統のバトンを渡す在校生へ感謝状を贈りました。6年生にとっては、後輩たちが自分たちの巣立ちを祝福して、感謝の気持ちを届けようとする姿に、心が温かくなったひと時となりました。また、これだけの会を催してくれたのは、憧れをもって祝福される素晴らしい6年生であることの証明でもあります。その誇りをもって、胸を張って中学校へ進学してほしいと思います。

卒業を祝う メッセージ



◎体育館の壁面には、各学年が心を込めて作成した6年生への「卒業を祝うメッセージ」が飾られています。子どもたちが自らデザインを考え、工夫を凝らして作り上げた心の込もった作品です。

卒業式当日も飾っていますので、6年生の保護者の皆様も、ぜひご覧ください。

◇6年生が考えたミッションに挑戦！最後のたて割り活動

◎2月27日（金）は、今年度最後のたて割り活動でした。企画・集会委員会の6年生が考えたミッションに、みんなで挑戦する時間としました。以心伝心ゲームやフルーツバスケット、椅子取りゲーム、ジャンケン列車など、1～6年生で協力して行うゲームを計画し、みんなで楽しみました。

最後に、1～5年生で分担して作成した花のメダルを6年生に渡して、これまでの感謝の気持ちを届けました。笑顔いっぱいの思い出に残る時間になりました。



立つ鳥跡を濁さず～6年生の取組

◇お世話になった地域の皆さんへ感謝を込めて 地域清掃

◎3月3日（火）、6年生は、日頃からお世話になっている地域の方へ感謝の気持ちを込めて、公園でゴミ拾いを行いました。本城方面（エメラルドマンション内の公園）と、赤坂市民センター方面（星和台西公園～本城六丁目公園）の二手に分かれて、火ばさみとゴミ袋を手に清掃開始です。時折小雨のぱらつくあいにくの天気でしたが、地域の方や保護者の方も数名参加していただき、一緒に清掃を行いました。いつも地域の方が手を入れてくれているおかげで、校区内の公園や歩道にはほとんどゴミが落ちていることはありませんが、子どもたちは側溝の中や植込みの陰など、見落としがちな所まで目を配って、予想以上にたくさんのゴミを拾うことができました。6年間の感謝を込めて、黙々と汗を流す姿に、名残を惜しむ気持ちが伝わってきました。活動を通して、公共の場所を美しく保つ大切さを実感できたようです。これからも、自分の生まれ育った地域を大切にする気持ちを持ち続けてほしいと思います。

